

三笠市議会政務活動費実績報告書

令和 7 年 3 月 19 日

三笠市議会議長 武 田 悌 一 様

会 派 名

代表者名 折 笠 弘 康

三笠市議会政務活動費条例第10条の規定により、次のとおり政務活動費に係る支出の実績を報告します。

記

1 交付決定額 50,400 円

2 支 出 額

項 目	金 額	摘 要
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	66,700円	研修負担金、航空券代、宿泊費
会 議 費	円	
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要請・陳情活動費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計	66,700円	

3 添付書類 領収書、領収明細書等の支出証拠書類

- 備考 1 摘要欄には、主な支出の内訳を記載してください。
- 2 会派に所属していない議員にあつては、「代表者名」とあるのは「議員名」と読み替えて記載し、「会派名」の欄の記入は、必要ありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	66,700 円
------	-----	----	----------

領収証

2025 年 2 月 20 日

折笠弘忠 様

★

¥30,000

但 2/20 14時～ 交通空白と地域公共交通の役割②  
2/21 10時～ ライドシェアの基礎と課題  
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



別紙

# 領収書

Rakuten Travel

発行日: 2025/2/18  
発行1回目

折笠 弘忠

様

支払金額 36,700 円  
ツアー料金: 36,700 円

但し サービス利用代金等として

## ■ 内訳

クレジットカード利用金額 36,700 円

## ■ 課税対象

10%対象 36,700 円

課税対象外 0 円

## ■ 旅行内容

代表者 おりかさ ひろただ

予約番号 RJ62460657424840273

旅行日程 2025/02/20 ~ 2025/02/21

申込人数 1名 (大人1名/子供0名/幼児0名)

航空会社 日本航空

ホテル アパホテル&リゾート〈西新宿五丁目駅タワー〉(2025/02/20から1泊・1部屋)

## ■ 利用明細

内訳 大人 36,700 円 x 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



# 『地域の足』が無くなる？ 交通空白解消セミナー

講師 **井原 雄人**

いはら ゆうと

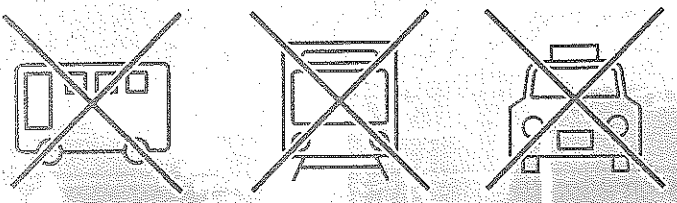
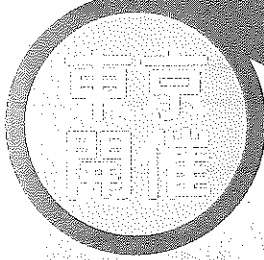
早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授  
合同会社ビジュアライト 共同代表  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。  
博士(学術・早稲田大学)

【紹介】

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の開発からそれらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方議員が取り組むべき課題～



2025  
1/16(木) 2/20(木) 3/26(水)

交通空白と地域公共交通の役割①  
10:00～12:30

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通の役割と課題
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

交通空白と地域公共交通の役割②  
14:00～16:30

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

2025  
1/17(金) 2/21(金) 3/27(木)

ライドシェアの基礎と課題  
10:00～12:30

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー  
コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・地域の足対策と観光の足対策

交通崩壊の解決策と各地の事例  
14:00～16:30

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

## 三笠市議会政務活動・地方議員研修報告書

三笠市議会

議員名 折 笠 弘 忠

### 1. 研修目的

近年、全国的に地方の人口減少運転乗務員等の人手不足により公共交通の維持存続が困難になってきている。三笠市でも公共交通の利用者は年々減少しており、住民の足である公共交通を維持していくためには、より効率的で「市民益と経済性を両立できる安全・安心で持続可能な交通体系」を構築することが必要になることから、知見を広め今後の三笠市の公共交通の在り方について研究することが必要である。

### 2. 日 時 令和7年2月20日（木）～21日（金）

### 3. 研 修 先 東京都 地方議員研究会

### 4. 研修事項（セミナー受講）

- ・交通空白と地域公共交通の役割について
- ・ライドシェアの基礎と課題

### 5. セミナー受講所見

一日目の「交通空白と地域公共交通の役割」についての研修では、地域公共交通関連の法制度の成り立ちから現在の法改正までの概要について学ぶ事が出来た。又現在の地域公共交通利便性増進事業の概要や共同経営による実施の事例、地域旅客輸送サービス継続事業の概要についても詳しく知ることが出来ましたし、これら国の補助金をもらう為の計画についても詳しくアドバイスを頂けた。

当市においては民間の中央バスとタクシーそして市内を走るコミュニティバスの運行等の交通体系になるのだが今後公共交通をどのようにするかではなく、「公共交通を使って町をどのようにしたいか」を考える事こそが重要との気付きを得る事が出来具体的な計画を策定する際の要素についても学ぶ事が出来た。自治体と交通事業者の関係性の再構築と役割の再確認の必要性についても重要であるとの認識を得た。



二日目の「ライドシェアの基礎と課題」についての研修では自家用有償旅客運送の導入の経緯や現状について、又相乗りタクシーやデマンド運行のパターンについて、実際に実施している地域の事例を見ながら学ぶことが出来た。

最後にライドシェアは地域公共交通を救うのかという題材で今後の地域公共交通の再構築を図る為の考え方として地域公共交通の需要減少は交通事業者の経営努力や自治体からの赤字補填だけでは維出来ず、地域を守る基礎的サービスである価値を再認識し、利便性向上のための戦略的な投資が必要とのアドバイスを受けた。当市の地域公共交通の投資とは何なのか？今すぐに答えは出せないが今後この答えを見つけ出す必要性に迫られるだろう。

今回、二日間の机上での研修の受講であったが、当市の公共交通の見直しを迫られている中、効率的で「市民益と経済性を両立できる安全・安心で持続可能な交通体系」を構築する新しい交通モードの検討に大変参考になった研修であった。

